

久留米大学を受診した患者さんへ

「非閉塞性腸管虚血（non-occlusive mesenteric ischemia ; NOMI） _全国アンケート調査」の研究に使用する試料（情報）について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の試料（情報）を使用します。

- 1) 期間：2000年1月から2014年12月
- 2) 受診科：高度救命救急センター
- 3) 対象疾患名：非閉塞性腸管虚血
- 4) 使用する試料（情報）：（診療情報等）

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：久留米大学高度救命救急センター
研究代表者：主任教授 坂本照夫
研究分担者：助教 吉富宗宏

2) 研究の意義と目的：非閉塞性腸管虚血（NOMI）は明確な診断基準がありません。このため現状での診断、治療の現状を把握し全国規模でのアンケート調査を行い、その内容の解析を行い、診断治療のアルゴリズム作成を目指します。

3) 研究の方法：

東京医科大学茨城医療センター臨床試験審査委員会での審査が通過した後に、日本腹部救急医学会倫理委員会にて審議いただき、学会承認をいただきます。その後、日本腹部救急医学会対象各施設あてに調査票を送付して、NOMI診断、治療の調査を行います。施設アンケートでは、背景、診断、治療における内容を調査し、その転帰を含め、調査を行い、各施設の臨床試験審査委員会での審査通過後もしくは、施設基準によっては研究代表者施設の臨床試験審査委員会での審査通知書をもってデータ収集を開始いたしたいと思っております。

4) 研究期間：平成27年8月倫理委員会承認後～平成27年12月31日

5) 上記の試料（情報）の使用を選定した理由：当センターで非閉塞性腸管虚血と診断された患者さんを対象とさせていただきます。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：結果は匿名化し患者さんのプライバシーに配慮したアンケート集計を行います。

7) 研究成果の発表の方法：日本腹部救急医学会研究班によりその成果を論文、学会発表を行います

8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はありません

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

吉富宗宏 久留米大学高度救命救急センター 助教

〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67

電話番号 0942-31-7643